

日本2×4加工機開発のパイオニア

2×4における全ての加工機を提供

日新興産

2×4工法がオーブ
ン化する以前から、2
×4部材加工機械の開
発に取り組み、今年で
約半世紀となる49年を
迎える日新興産(東京
都、原口博光社長)。

同社は、2×4加工
機業界のパイオニアと
して関連機械を独自開
発し、大手コンポーネ
ント工場から地方の工
場まで幅広く導入され
ている。代表的な機械
は、スーパーオートカ
ットソー、2×4屋根
材カットライン、パネ
ル図をソフトで把握

し、必要となる箇所へ
の釘打ちを高速での確
に行うことが可能な合
板釘打機などがあり、
コンポーネント事業に
必要な機械をオールマ
イティーでそろえる。

日本では1990年
代からコンポーネント
工場で、クロスカット
ソーを使ったダイメン
ションカットの生産性
向上が求められた。た
だそれには、欧州から
輸入された機械が使わ
れることが多かった。
そのなか、同社のスー
パーオートカットソー



スーパーカットソー

コンポーネント
工場に多く導入
されている。

原口社長は
「当社は、国内
のコンポーネン
ト工場に適した
加工機の開発を
目的に誕生し
た。私自身も北
米で使用される
加工機を見学
し、その性能を

は、高精度の切断を高
速かつ長期にわたって
維持できる特殊な機構
を組み込み開発され
た。同カットソーは、
最大120分/分の送
材速度とデータによる
自動切断(CAD/C
AM制御)により1回
のカットサイクルの短
縮、生産性の大幅向上
を実現し、国内の大手

見比べながら独自開発
に至った。当社は設計
から製造まで一貫して
行える能力を生かすと
ともに、コンポーネン
ト工場からの意見を吸
い上げ、ベンチマーキ
ングの考え方で今のよ
うな多種多様な機械開
発ができた」と語る。

の進化やロボットア
ームを用いた機械開
発、自動化、省力化、
加工における精度向上
を開発の目的としたI
oT仕様のA I工場の
研究も行っている。A
I活用は、同社が機械
のみならず2×4工法
における木拾い・パネ
ル図のソフト「NIC
APSⅢパネルシステ
ム」を提供してきた実
績に裏付けられてい
る。原口社長は「当社
は他産業の産業機械の
開発にも取り組んでい
る。常に開発技術を磨
いており、新たな機械
の開発が必要ならばせ
ひ声を掛けていただき
たい」と語る。

問い合わせは、同社
(電話03・35550
・6311)まで。